

2023 年度
一級・二級
地中熱施工管理技術者資格試験
受験の手引き

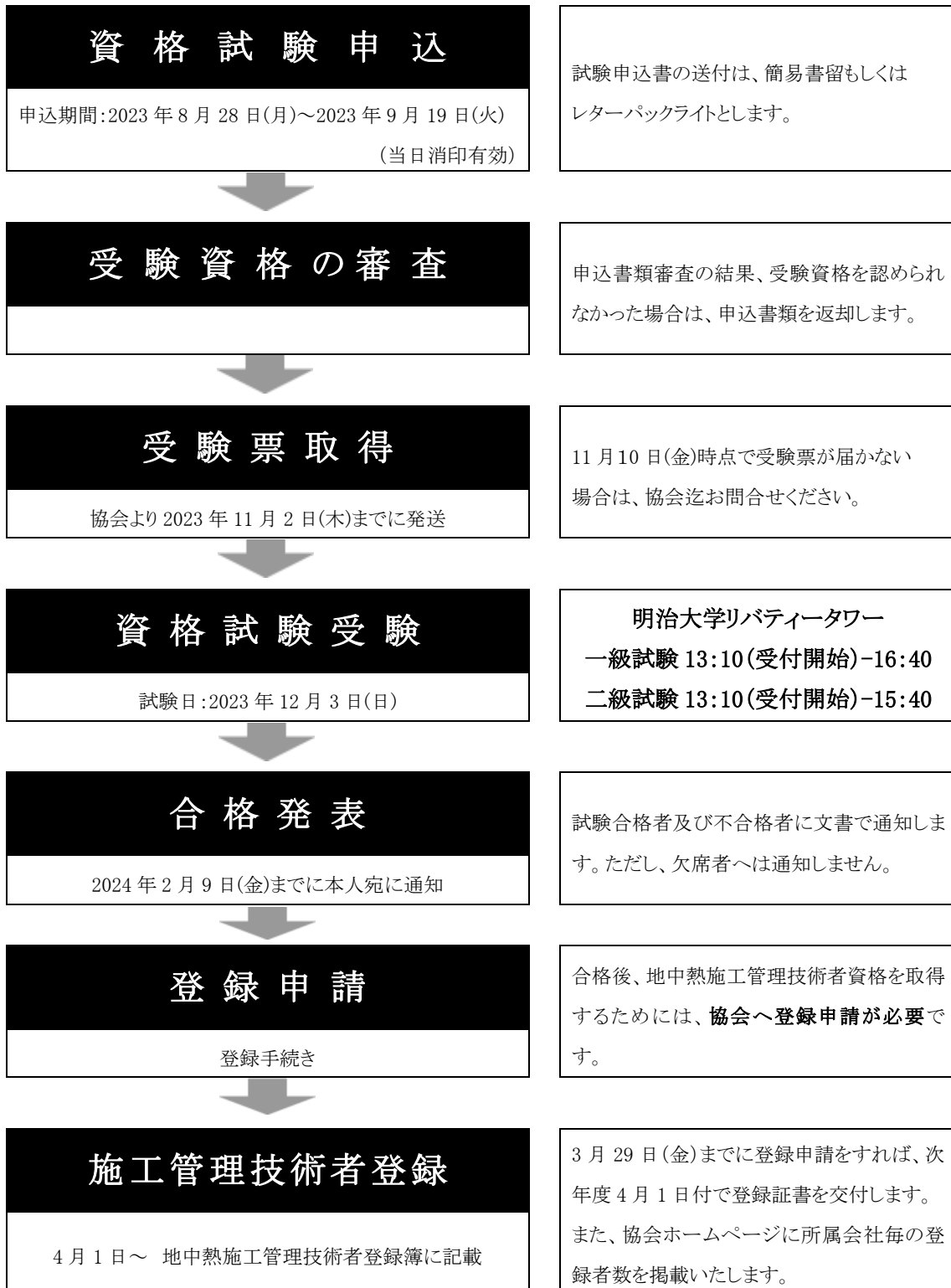
2023 年 7 月 31 日

特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会

目 次

1. 地中熟施工管理技術者資格試験について.....	1
(1) 地中熟施工管理技術者とは	1
(2) 受験資格と地中熟施工管理技術者登録までの流れ	2
(3) 試験の内容について.....	4
(4) 2023 年度地中熟施工管理技術者資格試験開催について.....	4
2. 地中熟施工管理技術者資格試験受験の手続について	5
(1) 必要書類	5
(2) 受験の申込について.....	6
3. 地中熟施工管理技術者資格試験受験当日に必要なもの.....	6
4. 受験に際しての注意事項	6
5. 合格発表	7
6. 登録	7
(1) 登録手続き.....	7
(2) 登録証の送付	7
7. 受験申込書の記入方法について.....	8
(1) 地中熟施工管理技術者受験申込書(様式第1号).....	8
受験申込書様式第1号(記載例)	9
(2) 実務経歴書(様式第2号)	10
実務経歴書(様式第2号) 記載例 1.....	13
実務経歴書(様式第2号) 記載例2(外部資格を実務経歴に計上する場合).....	14
実務経歴書(様式第2号)(実務経歴 不適當な記載の例)	15
(3) 実務経歴確認書(様式第3号)	16
実務経歴確認書(様式第3号)記載例	17
8. 受験申込書類の確認.....	18
9. 受験申込書類	
様式第1号 地中熟施工管理技術者受験申込書	20
様式第2号 実務経歴書.....	21
様式第3号 実務経歴確認依頼書	22

地中熱施工管理技術者の資格取得まで



1. 地中熱施工管理技術者資格試験について

(1) 地中熱施工管理技術者とは

地中熱施工管理技術者資格試験は、民間資格として特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会が実施する地中熱施工管理技術者資格制度に基づいて開催しています。

この制度は、地中熱利用の設備工事にかかわる施工管理技術者の資格を定め、その登録制度を実施することで、地中熱設備の品質を確保し、併せて地中熱利用の技術水準の向上と地中熱利用に関わる技術者の地位向上を図ることを目的としています。また、この資格制度を実施し、地中熱施工管理技術者の技能を高めることにより、再生可能エネルギー熱利用技術、省エネルギー技術の普及と環境負荷の軽減に寄与するものです。

地中熱施工管理技術者は、地中熱利用の設備工事において必要な知識・技術・経験を有する地中熱利用設備工事のエキスパートとして、地中熱利用設備に係る事業全体を把握し、調査・計画・設計・施工・管理の各々の段階において行われるべき業務において、これに係る人々をコーディネートするとともに、自ら実行する能力が求められます。

地中熱施工管理技術者には、一級と二級の資格があります。

・一級地中熱施工管理技術者

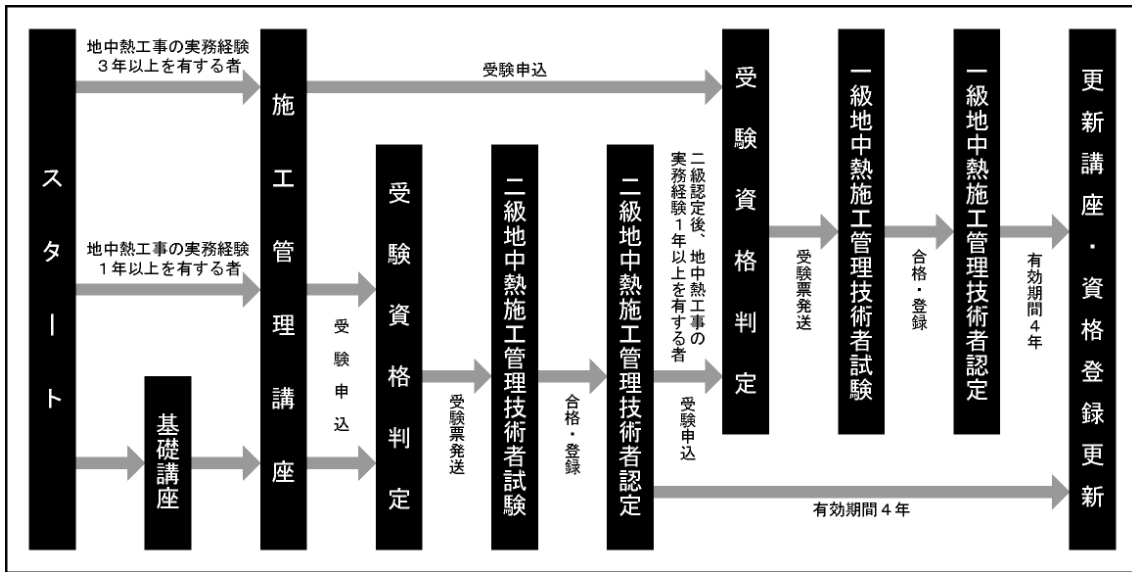
地中熱利用の設備工事(地中熱源からヒートポンプまでの施工範囲をいう)の施工管理責任者として必要な施工管理能力及び知識を有し、一級地中熱施工管理技術者としての登録を受けた者をいいます。

・二級地中熱施工管理技術者

地中熱利用の設備工事における施工管理責任者を補助する者として必要な施工管理能力及び知識を有し、二級地中熱施工管理技術者としての登録を受けた者をいいます。

(2) 受験資格と地中熱施工管理技術者登録までの流れ

地中熱施工管理技術者の資格を取得する流れを、以下に示します。



地中熱施工管理技術者資格を取得するためには、まず資格試験に合格しなければなりません。地中熱施工管理技術者資格試験は以下の二つがあります。

- ・一級地中熱施工管理技術者資格試験(「一級試験」)
- ・二級地中熱施工管理技術者資格試験(「二級試験」)

受験には、**受験資格を満たしていることが必要**です。受験資格は P.3 表 1 の通りとなっており、表中の①と②を満たす必要があります。

「一級試験」の受験資格では、**地中熱利用の設備工事について 3 年以上に相当する実務経歴**が、または**二級地中熱施工管理技術者の登録後、1 年以上の実務経歴**が必要です。

「二級試験」では、**地中熱工事の実務経歴が 1 年以上**または**1 年未満の場合は地中熱基礎講座の受講が必要**となります。

さらに「一級試験」「二級試験」とともに**地中熱施工管理講座の受講が必須**となります。

また、P.3 表2の**資格保有者**は、36 ヶ月の申請月数を**実務経歴に計上**することができます。つまり表2の**資格保有者**は「二級試験」はもちろん「一級試験」の**実務経歴の条件を満たしている**という事になります。

そして**資格試験合格後**に、技術者の**登録申請**を行うと**地中熱施工管理技術者**として**認定・登録**される流れとなります。技術者資格の有効期間は**4 年間**です。技術者資格の更新は、**登録更新講座**を受講することが必要で、再度登録を行うと有効期間が**4 年間**継続されます。

表1 一級及び二級資格試験受験資格
 受験資格は表中の①と②を満たす必要があります。

一級試験	二級試験
<p>① 地中熱利用の設備工事について 3 年以上(36 ヶ月以上)に相当する実務経歴を有すること。</p> <p>または、二級地中熱施工管理技術者登録後、1 年以上(12 ヶ月以上)に相当する実務経歴を有すること。</p> <p>但し、表2にある資格の保有者は、表に示す計上月数を実務経歴の申請月数に計上することができます。</p>	<p>① 地中熱利用の設備工事について 1 年以上(12 ヶ月以上)に相当する実務経歴を有すること。但し、表2にある資格の保有者は、表に示す計上月数を実務経歴の申請月数に計上することができます。</p> <p>または、本協会が実施する地中熱基礎講座の全課程を受講し、修了証書を授与されていること。</p>
<p>② 以下前 3 年度内の地中熱施工管理講座を受講していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 7 回地中熱施工管理講座(2020 年 11 月 9 日～15 日)(動画配信) ・第 8 回地中熱施工管理講座(2022 年 10 月 25・26 日) ・第 9 回地中熱施工管理講座(2023 年 8 月 23・24 日) <p>または、二級地中熱施工管理技術者として登録が有効であること。</p>	

表2 実務経歴書に申請可能な資格と計上月数

資格	計上月数	必要となる証明書類
一級管工事施工管理技士	36 ヶ月	・検定合格証明書
一級さく井技能士 かつ 監理技術者	36 ヶ月	・一級技能検定合格証書(検定職種さく井) ・監理技術者資格者証
建築設備士	36 ヶ月	・建築設備士試験合格証書 または ・建築設備士登録証
設備設計一級建築士	36 ヶ月	・設備設計一級建築士証
技術士 ・機械部門:選択科目「熱工学」 ・機械部門:選択科目「流体工学」 ・上下水道部門 ・衛生工学部門 ・総合技術監理部門:選択科目を 機械「熱工学」、機械「流体工学」、 又は「上下水道部門」若しくは 「衛生工学部門」に係るものに限る。 ・応用理学部門:選択科目「地質」 ・建設部門:選択科目「土質及び基礎」	36 ヶ月	・技術士登録等証明書

(3) 試験の内容について

「一級試験」「二級試験」の内容は主に表3の通りとなります。

参考教材は、以下2冊です。

「地中熱ヒートポンプシステム 施工管理マニュアル 改訂版」(地中熱利用促進協会 2022)

「地中熱ヒートポンプシステム 改訂2版」(オーム社 2020)

表3 一級及び二級資格試験の内容

一級資格試験	二級資格試験
① 地中熱利用の設備工事全般において必要な知識に関すること。 ② 設備工事の施工計画の作成及び工程管理、品質管理、安全管理等施工管理に関すること。 ③ 設備工事の施工に必要な法令に関すること。 ④ 設計図書に基づいて工事現場における高度な応用能力に関すること。	① 地中熱利用の設備工事に必要な知識に関すること。 ② 設備工事の施工計画の作成及び工程管理、品質管理、安全管理等施工管理に関すること。 ③ 設備工事の施工に必要な法令に関すること。
※ 参考教材： 「地中熱ヒートポンプシステム 施工管理マニュアル 改訂版」(地中熱利用促進協会 2022) 「地中熱ヒートポンプシステム 改訂2版」(オーム社 2020)	

(4) 2023年度地中熱施工管理技術者資格試験開催について

2023年度の資格試験は表4の通りとなり、「一級試験」及び「二級試験」は同時日程で同じ会場となります。また「一級試験」の問題では小論文があります。

表4 一級及び二級資格試験開催

試験区分	一級試験	二級試験
試験日	2023年12月3日(日)	
試験会場	明治大学リバティータワー 東京都千代田区神田駿河台1-1 (会場の詳細につきましては、受験票とともにお届けします。)	
受付・入室	13:10～13:30	
ガイダンス	13:30～13:40	
試験時間	13:40～16:40	13:40～15:40
問題形式	選択問題 筆記問題 計算問題 小論文	選択問題 筆記問題 計算問題

2. 地中熱施工管理技術者資格試験受験の手続について

(1) 必要書類

一級・二級各資格試験受験手続の必要書類は表5の通りです。どの受験資格でも①地中熱施工管理技術者受験申込書、⑦受験手数料の払込証明書、⑧返信用封筒は必要となります。各書類の記載方法・注意事項はP.8“7.受験申込書の記入方法について”を参照してください。受験資格の詳細はP.3表1一級及び二級資格試験受験資格を参照してください。

表5 受験に必要な書類一覧 (①⑦⑧以外は受験資格によって書類が変わります)

【一級試験】
受験資格:3年以上の実務経歴あり <ul style="list-style-type: none"> ① 地中熱施工管理技術者受験申込書(様式第1号) ② 実務経歴書(様式第2号) ③ 実務経歴確認書(様式第3号) ④ 施工管理講座修了証書の写し ⑦ 受験手数料の払込証明書 ⑧ 返信用封筒(長3号)(受験票及び合否通知用) 2枚
受験資格:二級登録後1年以上の実務経歴あり <ul style="list-style-type: none"> ① 地中熱施工管理技術者受験申込書(様式第1号) ② 実務経歴書(様式第2号) *二級登録後の実務経歴を申請してください。 ③ 実務経歴確認書(様式第3号) ⑤ 二級地中熱施工管理技術者登録証の写し ⑦ 受験手数料の払込証明書 ⑧ 返信用封筒(長3号)(受験票及び合否通知用) 2枚
【二級試験】
受験資格:1年以上の実務経歴あり <ul style="list-style-type: none"> ① 地中熱施工管理技術者受験申込書(様式第1号) ② 実務経歴書(様式第2号) ③ 実務経歴確認書(様式第3号) ④ 施工管理講座修了証書の写し ⑦ 受験手数料の払込証明書 ⑧ 返信用封筒(長3号)(受験票及び合否通知用) 2枚
受験資格:基礎講座修了者 <ul style="list-style-type: none"> ① 地中熱施工管理技術者受験申込書(様式第1号) ④ 施工管理講座修了証書の写し ⑥ 地中熱基礎講座修了証書の写し ⑦ 受験手数料の払込証明書 ⑧ 返信用封筒(長3号)(受験票及び合否通知用)

(2) 受験の申込について

- ① 受付期間 2023年8月28日(月)～2023年9月19日(火)(当日消印有効)
- ② 受験手数料と振込先は以下の通りです。

表6 受験手数料

受験手数料	11,000 円(消費税込)
振込銀行名	三菱 UFJ 銀行 荻窪支店(157)
預金の種別	普通預金
口座番号	0196272
口座名	特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会

- ・振込手数料は、受験者にてご負担ください。
- ・受験資格が認められなかった場合は、受験手数料から振込手数料を差し引いた金額を返します。
- ・受験手数料の払込証明書は、振込控えを添付してください。
- ・複数の人数分をまとめて会社から振り込むことも可能ですが、その際は振込控えに全員の氏名を記入してください。

- ③ 送付先 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-29-20 パシフィックアークビル5階
特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会
地中熱施工管理技術者 資格制度事務局宛

【注意事項】

- ・受験申込書は、簡易書留郵便またはレターパックライトでお願いします。

3. 地中熱施工管理技術者資格試験受験当日に必要なもの

- ① 受験票
- ② 用具(黒色の鉛筆、シャープペンシル、消しゴム)
- ③ 電卓(携帯電話等外部から情報が得られるものは不可)

4. 受験に際しての注意事項

- ① 試験会場には、13時10分から入室できます。試験開始後30分以降は試験会場に入室できませんので、時間に余裕をもって集合してください。
- ② 13時30分からガイダンスが始まりますので、それまでに指定された場所に着席し、受験票を机の上の見やすい場所においてください。
- ③ 受験票がないと受験できません。受験票を忘失された方は、必ず受付で再発行を受けてください。その際は、身分を証明できるものが必要となりますので、お持ちください。
- ④ 試験会場では、試験監督員の指示に従ってください。従っていただけない場合は、退室していただき、失格となる場合があります。
- ⑤ 試験会場での時計の利用、ペットボトルの利用は可能です。その他本協会が許可したものであれば、会場内で利用できます。
- ⑥ 携帯電話等の通信機器・電子機器は、試験会場では電源を切り、鞆等に片づけてください。
- ⑦ 試験開始後30分以内は途中退出できません。また、30分を過ぎていったん退室した場合、再入室はできません。ただし、小用等やむを得ない場合は、この限りではありません。挙手のうえ試験監督の許可を得て、静かに行動してください。室内を出るときは鞆、携帯電話等を持ち出さないでください。
- ⑧ 試験終了時間前に解答を終えて退出する場合には、試験問題及び答案用紙を試験監督員に提出し

荷物をすべて持参して、静かに退出してください。

- ⑨ 試験問題は、持ち帰ることはできません。
- ⑩ 試験会場は、禁煙です。
- ⑪ 以下の感染症対策を実施します。
 - ・会場のドア・窓は随時解放して、換気を確保いたします。
 - ・会場内の座席は、3人掛けの机に2人掛けとします。
 - ・会場内では、マスクの着用を推奨します。
 - ・入室の際には、手洗い・手指の消毒にご協力ください。

5. 合格発表

合格発表は、2024年2月9日(金)までに、当協会から本人宛に文書で通知します。但し、欠席者への通知は致しません。尚、協会ホームページでも公開いたします。

6. 登録

(1) 登録手続き

地中熱施工管理技術者の資格認定は、登録申請が必要となります。別途公開する『地中熱施工管理技術者 登録の手引き』に従い申請を行ってください。

必要事項は以下の通りです。

- ①地中熱施工管理技術者 登録申請書(様式第1号)
貼付写真・証明書
 - ・携帯用登録証用の顔写真(縦3cm×横2cm)
 - ・振替払込受付証明書
- ②登録手数料 11,000円(消費税込)

*登録申請は、WEBフォームでも受け付けております。詳しくは登録の手引きをご参照ください。

(2) 登録証の送付

2024年3月29日(金)までに登録申請を済ませれば、2024年4月1日付で地中熱施工管理技術者の登録証と携帯登録証を交付いたします。

7. 受験申込書の記入方法について

受験申込書、実務経歴書、実務経歴確認依頼書の記入は、必ず受験申込者自身が行ってください。記載漏れ、誤記があった場合は受験できない可能性があります。記載事項の確認は入念に行ってください。

【注意事項】

- ・虚偽の記載が判明した場合、受験資格が取り消される場合があります。
- ・虚偽の記載等により受験資格並びに資格の認定が取り消された場合においては、受験料並びに登録料は返金できませんのでご了承ください。

(1) 地中熱施工管理技術者受験申込書(様式第1号)

主な注意事項を以下に記載します。申込書の記載方法は次ページをご参照ください。

【注意事項】

- ・貼付する写真は、縦 5cm 横 4cm、本人単身、無帽、胸から上、最近6ヶ月以内撮影のものとし、裏には氏名、現住所を記入してください。
- ・受験票、合否通知並びに問い合わせ等は、受験申込書に書かれた氏名、住所等に基づいて発行・発送を行います。住所、電話番号、E-mail アドレスはお間違いのないように、そして住所にはふりがなをふってください。またマンション・アパート等の場合は建物名、棟番号、部屋番号まで正しく記入してください。
- ・書類は楷書で丁寧に記入してください。(PC による記入も可)

忘れずに記入してください

地中熱施工管理技術者受験申込書

記入日:2023年11月1日

受験番号	※ 受験番号は記入しないでください		<p style="text-align: center;">写 真</p> <p style="text-align: center;">縦5cm × 横4cm</p> <p style="text-align: center;">本人単身、無帽、胸から上</p> <p style="text-align: center;">最近6ヶ月以内撮影のもの</p> <p style="text-align: center;">撮影日:2023年10月14日</p>	
受験区分 受験資格	一級	(A) 3年以上の実務経歴		
		B 二級登録後1年以上の実務経歴 (二級登録番号)		
	二級	C 1年以上の実務経歴		
		D 基礎講座修了 (修了証書番号)		
施工管理講座 修了証書番号	C20001 施工管理講座 修了証書番号は必須です			
生年月日	大正・昭和・平成 60年 2月 2日(満年齢38歳)	申し込み時点での満年齢	性別	(男)女
ふりがな 氏名	姓 ちちゅうねつ 地中熱	名 たろう 太郎	(地中熱)	
現住所 (ふりがな)	〒167-0051 東京都中野区中野 3-29-6 とうきょうとなかのくなかの 3-29-6 (建物名等・部屋番号)アトランティックマンション 501号室			
電話番号	03-1234-5678 (自宅)・呼出・携帯			
E-mail アドレス	taro@chichunetsu.co.jp			
勤務先名称 所属部、課名 (ふりがな)	株式会社 地中熱工事 荻窪支店 工事部 管理課 かぶしきがいしゃ ちちゅうねつこうじ おぎくぼしてん こうじぶ かんりか			
勤務先 所在地 (ふりがな)	〒167-0051 東京都杉並区天沼 4-20-21 とうきょうとすぎなみくあまぬま 4-20-21 (建物名等・部屋番号)メダタレーニアンビル 5階		勤務先は住所、名称、所属部・課名まで記入し、電話番号については内線番号がある場合、記入してください。	
電話番号	03-3333-7777		(内線番号)236	

地中熱施工管理技術者受験申込書作成上の留意事項

1. 筆以外の黒または青字の筆記用具を使用し、文字は楷書で正確に記入すること。(パソコン等による作成可)
2. ※印欄は記入しないでください。
3. 虚偽の記載が判明した場合、受験資格が取り消される場合があります。

(2) 実務経歴書(様式第2号)

地中熱施工管理に関する実務経歴とは

「実務経歴」とは、地中熱工事の施工に直接的に関わる技術上のすべての職務経験をいい、具体的には下記に関するものをいいます。

- ・受注者(請負人)として施工を指揮・監督した経験。
(施工図の作成や、補助者としての経験も含む)
- ・発注者側における現場監督技術者等(補助者も含む)としての経験。
- ・設計者等による工事監理の経験(補助者としての経験も含む)。
- ・建設工事の単なる雑務や単純な労務作業、事務系の仕事に関する経験は含まれません。
- ・工程管理、品質管理、安全管理等を含まない単純な労務作業等は含まれません。

【注意事項】

- ・実務経歴書は、2023年8月31日(木)現在で作成してください。2023年9月1日(金)以降予定される実務経歴を含めることはできません。

■実務経歴の従事期間と申請月数の考え方

実務経歴書では、従事期間と申請月数で記載して頂きます。従事期間とは、受験者が実際にその工事や業務に専従した期間となります。工事・業務期間内にあっても実務に従事していない期間は計上できません。申請月数とは、従事期間内で実務経歴の計上可能な月数となります。下図のように同期間に複数の工事に従事している場合は、従事割合に応じて申請月数を按分してください。実務経歴書では工事・業務期間の記載欄もありますが、ここは工事・業務全体の期間を記載してください。

申請月数の計上例を以下に示します。

例1の①地中熱源工事を8ヵ月の申請月数と計上した場合は、②一次配管工事は①と従事月が重複しているため計上できません。③機械器具設置工事は、①の従事月と重複していない9月から11月の3ヵ月が申請月数として計上でき、申請月数の合計は11ヵ月となります。

例2では①を4ヵ月の申請月数、②も4ヵ月の申請月数と計上して、③は例1と同様に3ヵ月の申請月数で計上しています。こちらも申請月数の合計は11ヵ月となります。例1・例2のどちらの申請月数も計上が可能です。従事割合に応じて申請月数を計上してください。

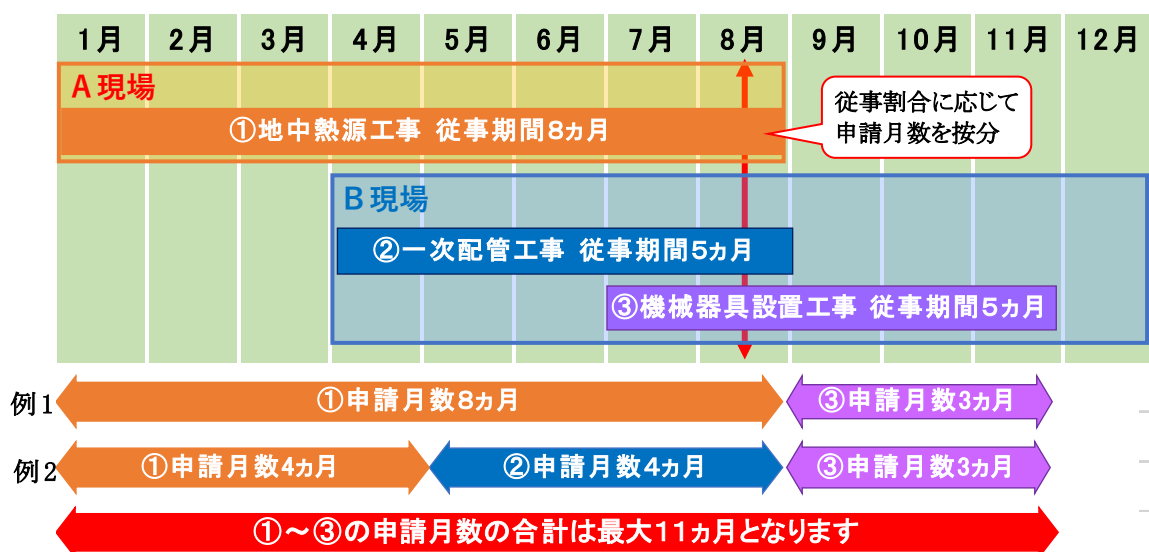


図1 実務経歴書 申請月数の計算方法

■地中熱の実務経歴と認められる工事・業務

地中熱の実務経歴と認められる工事・業務内容を表7に示しますので、実務経歴の記載時に参照してください。また工事・業務によっては、申請月数の計上に注意点があります。

表7 地中熱の実務経歴と認められる工事・業務

工事・業務	主な内容
設計・コンサルタント業務	地中熱設備の企画・設計 ※1
地 中 熱 源 工 事	地中熱源設備の施工
試 験 ・ 計 測	熱応答試験・モニタリング等 ※2
一 次 側 配 管 工 事	地中熱源水横引き配管の施工
機 械 器 具 設 置 工 事	ヒートポンプ等地中熱設備機器の設置 ※3
施 工 管 理	地中熱源・地中熱源水配管・設備機器等の施工管理
メ ン テ ナ ンス 工 事	設置後のシステム全体の維持管理・補修工事の施工

○工事・業務における申請月数の計上についての注意点

- ※1 設計・コンサルタント業務は、計上可能な従事期間の1/2が申請月数となります。
- ※2 熱応答試験の申請月数は1件につき1ヶ月が上限です。
モニタリングは1件で1年当たり1ヶ月が上限です。
- ※3 二次側室内機のみでの設置は含まれません。

○様々な工事・業務の申請月数の計上例

様々な工事・業務の実務経歴を申請月数として計上する例を以下に示します。

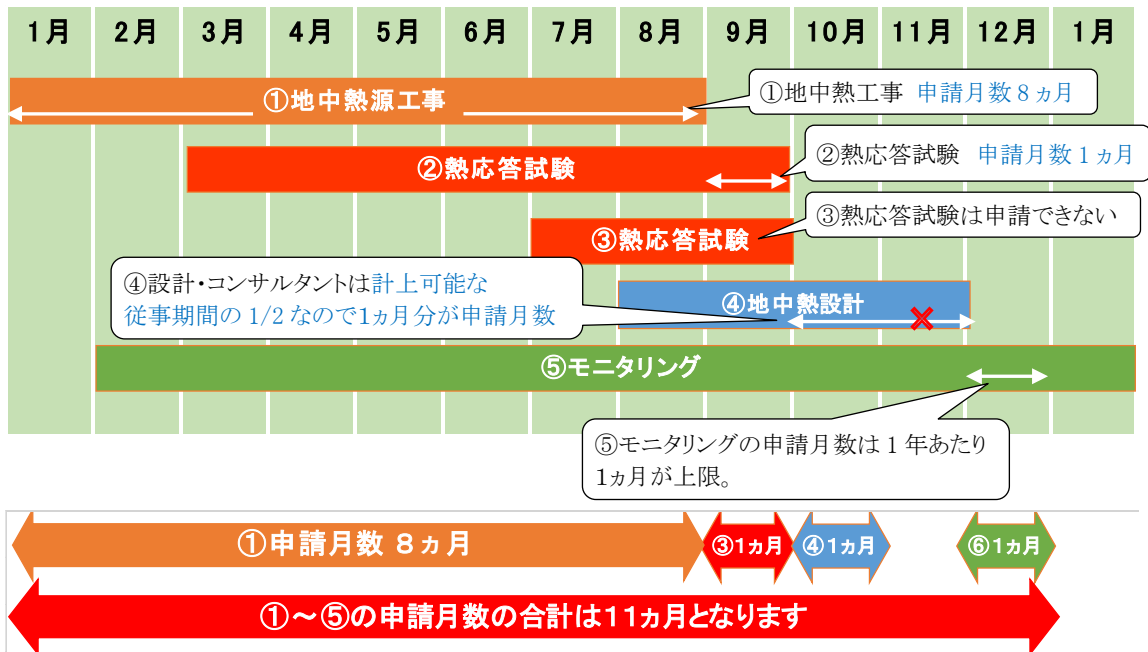


図2 様々な工事・業務の申請月数の計上例

図1実務経歴書 申請月数の計算方法で示したように申請月数は、複数の工事・業務を重複しての計上はできません。

図2に示すように①地中熱源工事の申請月数を8ヵ月として計上した場合、熱応答試験の申請月数は1件で1ヵ月のみなので、②熱応答試験の申請月数では9月の1ヵ月が計上可能となります。③熱応答試験は、7月から9月まで既に①と②で計上しているため申請月数を計上できません。④地中熱設計では、8月と9月は上記と同じ理由で計上できないので、10月と11月が計上可能な従事期間となります。設計・コンサルタントは計上可能な従事期間の1/2が申請月数となるので、ここでは10月の1ヵ月分を計上しています。11月に関しては④地中熱設計の計上可能な従事期間となっているので、⑤モニタリングは11月の申請月数が計上できません。従い12月の1ヵ月を申請月数として計上しています。因みにモニタリングは1年あたりで1ヵ月が上限です。従い図2では実務経歴の申請月数の合計は11ヵ月となります。

○地中熱の実務経歴として認められない工事・業務

工事・業務内容	主な内容
機器の設計	ヒートポンプ等地中熱関連機器のみの設計
機器製作・販売	ヒートポンプ等地中熱関連機器のみの製作及び販売
二次側配管工事	ヒートポンプ二次側冷媒及び冷温水配管のみの工事
研究・開発	施工及び施工管理を伴わない研究開発

○実務経歴を外部資格で計上する場合の注意点

P.3表2に示している資格を有している方は、必ず証明する書類の写しの添付をお願いします。

実務経歴書(様式第2号) 記載例1

実務経歴書は、2023年8月31日現在で作成してください。2023年9月1日以降予定される実務経歴を含めることはできません。

実務経歴書

工事・業務全体の期間

工事・業務全体の期間から実際に従事した期間

地中熱

氏名： 地中熱 太郎

従事期間から計上可能な申請月数

所属団体 事務所等名	工事・業務名称 保有資格名称	工事・業務内容	工事・業務 での立場	工事・業務期間	従事 期間	申請 月数
(株)地中熱工事	荻窪マンション地中熱空調設備工事	ボアホール掘さく工事	作業員	H23. 9 ~ H24. 2	2月	2月
(株)地中熱工事	都立荻窪高校地中熱空調設備工事	熱源配管工事	作業員	H24. 9 ~ H25. 2	3月	3月
(株)地中熱工事	荻窪工場地中熱空調設備工事	ボアホール掘さく工事	作業員	H25. 9 ~ H26. 2	3月	3月
(株)地中熱工事	荻窪工場地中熱空調設備工事	熱源配管工事	現場代理人	H25. 9 ~ H26. 2	2月	2月
(株)地中熱工事	荻窪食品工業地中熱空調設備工事	ボアホール掘さく工事	現場代理人	H26. 9 ~ H28. 3	6月	6月
(株)地中熱工事	荻窪食品工業地中熱空調設備工事	熱源配管工事	現場代理人	H26. 9 ~ H28. 3	2月	2月
(株)地中熱工事	荻窪食品工業地中熱空調設備工事	HP 設置工事	現場代理人	H26. 9 ~ H28. 3	1月	1月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備設計業務	熱応答試験	主任技術者	H28. 7 ~ H28.12	1月	1月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備設計業務	地中熱設備設計	主任技術者	H28. 7 ~ H28.12	4月	2月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備工事	ボアホール掘さく工事	現場代理人	H29. 4 ~ H31. 3	7月	7月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備工事	熱源配管工事	現場代理人	H29. 4 ~ H31. 3	3月	3月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備工事	HP 設置工事	現場代理人	H29. 4 ~ H31. 3	2月	2月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備モニタリング業務	モニタリング	主任技術者	H31. 4 ~ R 2. 3	1月	1月
(株)地中熱工事	荻窪商事本社ビル地中熱空調設備工事	ボアホール掘さく工事	主任技術者	R 1. 9 ~ R 1.12	3月	3月
				計	40月	38月

実務経歴書作成上の留意事項

1. 受験資格に必要な実務経験年数以上を記入してください。
2. 記入欄が不足している場合、適宜複写のうえ作成してください。
3. 所属団体が複数の場合、各々の所属団体の名称を記入してください。
4. 虚偽の記載が判明した場合、受験資格を失います。

記入欄が不足している場合は、適宜複写のうえ作成してください。

受験資格を失います。

工事・業務での立場は、現場代理人、主任技術者、施工監督、工事主任、工事係、施工管理係等、受験者が従事した立場を記入してください。

申請月数の合計が受験資格に必要な実務経歴を満たしていることを今一度確認してください

実 務 経 歴 書

氏名： 地中熱 太郎 地中熱

所属団体 事務所等名	工事・業務名称 保有資格名称	工事・業務内容	工事・業務 での立場	工事・業務期間	従事 期間	申請 月数
(株)地中熱工事	都立荻窪高校地中熱空調設備工事	熱源配管工事	作業員	H24. 9 ~ H25. 2	4月	4月
(株)地中熱工事	荻窪工場地中熱空調設備工事	ボアホール掘さく工事	作業員	H24. 9 ~ H25. 2	4月	4月
	6ヶ月間で8ヶ月分の実務に従事することはできません。この場合申請月数の合計は6ヶ月まで。					月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備設計業務	地中熱設備設計	主任技術者	H28. 7 ~ H28.12	4月	4月
	設計業務は計上可能な従事期間の1/2が申請月数となります。この場合計上は2ヵ月。					月
(株)地中熱工事	荻窪ビルディング地中熱空調設備モニタリング業務	モニタリング	主任技術者	H31. 4 ~ R 2. 3	12月	3月
	モニタリングは1件1年当たり1ヶ月が上限です。					月
(株)地中熱工事	荻窪商事本社ビル地中熱空調設備工事	室内機設置・冷温水配管工事	主任技術者	H30. 9 ~ H30.12	3月	3月
	二次側のみの工事は経験として認められません。					月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				計	月	月

実務経歴書作成上の留意事項

1. 受験資格に必要な実務経験年数以上になることを確認してください。
2. 記入欄が不足している場合、適宜複写のうえ作成してください。
3. 所属団体が複数の場合、各々の代表者の確認書が必要となります。
4. 虚偽の記載が判明した場合、受験資格の喪失及び資格の認定が取り消される場合があります。

(3) 実務経歴確認書(様式第3号)

- ・実務経歴確認書は、確認依頼書と確認書がセットになっています。
実務経歴書の記載内容について所属団体の代表者(支店長等も可)に確認していただき、証明を受けてください。
- ・証明者は、所属団体の代表者(支店長等も可)とし、その所在地・名称・代表者名を記入し、代表印を押印してもらってください。
- ・実務経歴が複数の所属団体にわたる場合、各々の代表者の確認書が必要となります。
- ・代表者の証明がもらえない場合は、その理由を記載してください。
- ・代表者自身が受験者の場合は、代表者氏名と受験者氏名が同一となります。

実務経歴確認依頼書

2023年11月2日

株式会社 地中熱工事

取締役支店長 地中熱 一郎 殿

住所 東京都中野区中野 3-29-6-501
受験(申請)者
氏名

地中熱 太郎



今般、実施されます地中熱施工管理技術者資格試験の受験申込のため、実務経歴の証明をお願いしたく、実務経歴書の内容をご確認のほど、よろしく願い申し上げます。

実務経歴確認書

この度、(受験者氏名) 地中熱 太郎 から依頼のあった実務経歴の内容を確認したところ、相違がないことを誓約します。

2023年11月2日

所在地 東京都杉並区天沼 4-20-21
証明者 称号又は名称 株式会社地中熱工事 荻窪支店
代表者氏名 取締役支店長 地中熱 一郎



- ・証明者は、所属団体の代表者(支店長等も可)とし、その所在地・名称・代表者名を記入し、代表印を押印。
- ・実務経歴が複数の所属団体にわたる場合、各々の代表者の確認書が必要。
- ・代表者の証明がもらえない場合は、その理由を記載。
- ・代表者自身が受験者の場合は、代表者氏名と受験者氏名が同一となる。

8. 受験申込書類の確認

受験申込に必要な書類等について、下記のチェックリストでご確認ください。

試験区分		一級試験		二級試験	
受験資格		3年以上の実務経歴	1年以上の実務経歴 二級登録後	1年以上の実務経歴	基礎講座修了者
受験申込書類	地中熱施工管理技術者受験申込書(様式第1号)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実務経歴書(様式第2号)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
	実務経歴確認書(様式第3号)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
	施工管理講座修了証書の写し	<input type="checkbox"/>	—	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	二級地中熱施工管理技術者登録証の写し	—	<input type="checkbox"/>	—	—
	地中熱基礎講座修了証書の写し	—	—	—	<input type="checkbox"/>
	受験料払込証明書(振込み控えを添付)*1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	返信用封筒(長3号)2枚*2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*1 受験手数料の払込証明書は、振込控えの添付をお願いします。

振込は複数人数分をまとめて会社から振り込むことも可能ですが、その際は振込控えに全員の氏名を記入してください。

*2 返信用封筒は、受験票及び試験会場の案内と合否通知を発送しますので、表面に宛名(受験者本人の郵便番号・住所・氏名)を必ず明記し、84 円の郵便切手を貼って同封してください。

* 集合住宅等の場合、建物名、部屋番号を明記し、確実に届くように記載をお願いします。

以 上

2023年7月31日 発行

特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会

地中熱施工管理技術者 資格制度事務局

〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5 丁目-29-20

パシフィックアークビル5階

TEL:03-3391-7836

様式第1号

地中熱施工管理技術者受験申込書

記入日：2023年 月 日

受験番号	※		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写 真</p> <p>縦5cm × 横4cm</p> <p>本人単身、無帽、胸から上</p> <p>最近6ヶ月以内撮影のもの</p> </div> <p>撮影日： 年 月 日</p>			
受験区分 受験資格	一級	A 3年以上の実務経歴				
		B 二級登録後1年以上の実務経歴 (二級登録番号)				
	二級	C 1年以上の実務経歴				
		D 基礎講座修了 (修了証書番号)				
施工管理講座 修了証書番号						
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日(満年齢 歳)		性別	男・女		
ふりがな 氏名	姓	名	印			
現住所 (ふりがな)	〒 — (建物名等・部屋番号)					
電話番号 E-mail アドレス	— —		自宅・呼出・携帯			
勤務先名称 所属部、課名 (ふりがな)						
勤務先 所在地 (ふりがな)	〒 — (建物名等・部屋番号)					
電話番号	— —		(内線番号)			

地中熱施工管理技術者受験申込書作成上の留意事項

1. 筆以外の黒または青字の筆記用具を使用し、文字は楷書で正確に記入すること。(パソコン等による作成可)
2. ※印欄は記入しないでください。
3. 虚偽の記載が判明した場合、受験資格の喪失及び資格の認定が取り消される場合があります。

実 務 経 歴 書

氏名: _____ 印

所属団体 事務所等名	工事・業務名称 保有資格名称	工事・業務内容	工事・業務 での立場	工事・業務期間	従事 期間	申請 月数
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				～	月	月
				計	月	月

- 実務経歴書作成上の留意事項
1. 受験資格に必要な実務経歴年数以上になることを確認してください。
 2. 記入欄が不足している場合、適宜複写のうえ作成してください。
 3. 所属団体が複数の場合、各々の代表者の確認書が必要となります。
 4. 虚偽の記載が判明した場合、受験資格の喪失及び資格の認定が取り消される場合があります。

様式第3号

実務経歴確認依頼書

2022年 月 日

殿

住所
受験(申請)者
氏名 印

今般、実施されます地中熱施工管理技術者資格試験の受験申込のため、実務経歴の証明をお願いしたく、実務経歴書の内容をご確認のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

実務経歴確認書

この度、(受験者氏名) から依頼のあった実務経歴の内容を確認したところ、相違がないことを誓約します。

2022年 月 日

所在地
証明者 称号又は名称
代表者氏名 印